

サンクトゥム
SANCTUM
FILIP NEDUK

シングルプレイヤー



ヴァリアントルールデザイン：
フィリップ・ムルマク

翻訳：上館浩章

Hobby
JAPAN

CGE
Czech Games Edition

ヒスイの石棺は開かれてしまった。
マルガザールが支配権を握り、手下のデーモンどもが地上を制圧した。
あなたはサンクトゥムを救いに赴かなければならない……
たとえそれが、たった一人の戦いでも。

これはファンタジーボードゲーム『サンクトゥム』のプレイヤー1人用ヴァリエントです。プレイには『サンクトゥム』本体が必要です。

セットアップ

セットアップは**プレイヤー2人でのゲーム**と同様ですが、ただし、以下の点が異なります：

- ・ 功績ボードは**プレイヤー3人でのゲーム**と同様にセットアップするが、ただし〈上級レベルマスター〉は使用しない。(その結果、功績タイルは9枚しか必要ない)。
- ・ あなたはどのキャラクターでもプレイできる。「スタート時のボーナス」の表は無視して、代わりにポーション1個をランダムに受け取る。

〈デーモン・ロード〉デッキおよび猛威カード・デッキをそれぞれシャッフルする。デッキからある枚数だけ猛威カードを引いて、それを裏向きのまま〈デーモン・ロード〉デッキの上に重ねて置き、**チャレンジ・デッキ**を作成する。上に置く猛威カードの枚数は、ゲームの難易度によって決まる：

- ・ **余裕**：〈デーモン・ロード〉カード33枚全ての上に、猛威カード18枚全てを重ねる。
- ・ **着実**：〈デーモン・ロード〉カード33枚全ての上に、ランダムの猛威カード12枚を重ねる。
- ・ **急行**：〈デーモン・ロード〉カード33枚全ての上に、ランダムの猛威カード6枚を重ねる。
- ・ **突進**：デーモン・ロード〉カード33枚のみを使用する。

これはプレイヤー1人用のゲームなので、神性介入タイルの上には常にダイス1個しか置かれない。

ゲームをプレイする際の変更点

- ・ **デーモン1体を倒すたびに**、レベルを獲得するか、または、カードをめくって裏面のアイテムを獲得するか、どちらかを選択する——あなたは両方を獲得することはできない(注意：テーマ的にはアイテム面を見る前にどちらか選択する方がリアルだ。しかし、ゲームの運要素を減らしたい場合は、最初に見てから決めてもよい)。
- ・ **休息(「小休止」を含む)した時点で**、あなたがそれまでに獲得した技能の数を数えて、同じ枚数だけデッキからチャレンジ・カードを引く(または、もしも技能をひとつも持っていない場合は、カード1枚を引く)。チャレンジ・カードの表面は見ないこと。

最初のうちは、猛威カードを引くことになる。このカードは、そのまま裏向きで猛威カード・デッキの上に追加していく(これはゲームの最終段階になったら使用する)。チャレンジ・デッキの上から猛威カードを全て引ききったら、〈デーモン・ロード〉カードを引くことになる。このカードは、あなたのボード右上角に裏向きで積んでいき、**最終決戦デッキ**を作成する。

もしもチャレンジ・デッキがカラになった場合、以後は上記の「休息」に関するルールを無視できる。ただし、これは決して望むべき状況では無く、なぜなら、これはあなたの最終決戦デッキが〈デーモン・ロード〉カード33枚全てから成ることを意味するからだ。最終決戦デッキが大きくなればなるほど、あなたがデーモン・ロードと対決した際に、これに打ち勝つのがより難しくなる。

- ・ **各章の終了時に**、あなたがまだ獲得していない功績の一部を取り除かなければならない：
 - 第I章の宝箱を開けた後：一番上の段に残っている全てのタイルを取り除く。
 - 第III章の宝箱を開けた後：上から2段目に残っている全てのタイルを取り除く。
 - 第V章での「小休止」の後：上から3段目に残っている全てのタイルを取り除く。



第 V 章および第 VI 章

「外壁を破る」フェイズまで、第 V 章を通常どおりプレイします。今回は「デーモン・ロードが出現する」ステップをスキップします。プレイヤーはあなた 1 人だけなので「招集の呼びかけ」は発生しません。直接に「小休止」へ進みます（これは「休息」と扱うため、チャレンジ・カード 1 枚を引くのを忘れないこと）。

この最後の「休息」の後は、デーモン・ロードとの戦いをセットアップする番です。これは通常のゲームとは異なります：

- A** チャレンジ・デッキにカードが少なくとも 5 枚残っているかどうかチェックする。もしも残っていない場合は、5 枚になるまで最終決戦デッキからカードを戻す。ここでチャレンジ・デッキはいったん脇に除けておく。



- B** 最終決戦デッキをシャッフル、カード 2 枚を引いて大聖堂に裏向きで配置する（「デーモン・ロードが出現する」ステップと同様に）。



- C** 図のとおり番号順に、カードを裏向きで配置していき、ピラミッドを作る。もしもカードを引ききった場合は、そこでストップする。



- D** もしも 5 段のピラミッドを作り終えた後でカードが残っている場合は、残りのカードを大聖堂に追加で配置する。

ここで第 V 章の「デーモン・ロードの応戦」ステップと同様に、デーモン・ロードが大聖堂に配置されているカードで 1 枚ずつ順に、あなたを攻撃する。

もしもこれを生き延びたなら、**あなたのバトルボードを通常どおりセットアップする**。〈デーモン・ロード〉カードについては、チャレンジ・デッキに残ったカードから 5 枚を使用する。猛威カードは通常どおり猛威カード・デッキから引く（難易度に応じて、これには元々チャレンジ・デッキの一部だったカードが含まれている場合もない場合もあり得る——これはどうでもよく、なぜなら、いずれにせよあなたはカードの表面を見ていないからだ）。

“デーモン・ロードの憤怒”ピラミッドを前もってセットアップしておくことを除いて、最終決戦は通常のルールに従う。幸運を祈る！（あなたにはそれが必要なはずだ）。**生き延びることができたなら、あなたの勝利だ！**